

# 安心と笑顔のために

日本共産党札幌市議団ニュース

No. 346 2023年11月07日

日本共産党札幌市議団 事務局 TEL 211-3221 / fax 218-5124

## 暗渠河川調査 6 年度意向も引き続き実施表明

10月24日 決算特別委員会 吉岡ひろ子議員

札幌市で観測史上初めて震度 6 弱が観測された胆振東部地震では、清田区を初め、豊平区、東区、北区などで液状化などによる地盤の流動、陥没が発生し、清田区では 2 ヶ所で暗渠管の変形が確認されました。また、吉田川公園では、暗渠管に 10m に渡る潰れと漏水が確認され、2019 年に新設工事が行われ、この年度から 5 年間にわたり暗渠河川の調査を行い、今年が最終年度となっていることを受けて、吉岡市議は最初に、「これまでの調査の進捗状況と調査内容結果について。あわせて、埋設してから 50 年、60 年と長期間経過していることによる影響は」と質問。市の担当者は「調査には相当の期間を要することから、緊急輸送道路を優先することとし、令和元年度より、縦断的に埋設された 13 河川約 16km について調査を開始。進捗状況は、令和 4 年度までに 9 河川、約 13km の調査を実施しており、残りの河川も、今年度中に調査を完了する見込み。現時点で、長期間経過していることによる影響については見られてない」と答弁したため、重ねて同市議は、本市の調査について、暗渠河川総延長の 96 キロから見ると、一部であり、未着手とされる大部分について「暗渠河川の調査における今後の取り組みについて」と質問しました。市の担当者は「令和 6 年度以降は、緊急輸送道路を横断する 46 河川、約 26km について優先的に調査を進めてまいりたい」と今後の取り組みを明らかにしました。

最後に同市議は「暗渠河川は目に見えませんが、調査をしなければ、正確な状況を把握することができません。引き続き調査していただいて、災害に強いまち作りを進めるように」と求めました。

## 藻岩南の沢地区学校統廃合ありきで進めるな

10月24日 決算特別委員会 さとう議員

札幌市は 2004 年に中央区で小学校 4 校を 1 校に統合、その後厚別区、白石区、南区で 19 校を対象として、11 校なくなりました。ところが、子どもたちも、住民の方も事前に知らされないまますすめられ、学校をなくさないでほしいという陳情が、市民から提出されるということが繰り返されてきました。

しかし 2018 年からさらに統廃合対象を拡大し、地域連合町内会や PTA 役員などに説明を行い、現在、東区で 4 校、豊平区で 5 校、南区で 5 校を対象として、昨年 11 月から 2 月にかけて、住民説明会として、オープンハウスを実施後、「学校配置検討委員会」を設置して「統廃合ありき」の検討をすすめています。

藻岩山・南の沢地区は、小学校 2 校と中学校 1 校を統廃合し中学校校舎を義務教育学校とする案ですが、山坂で勾配もきつく、低学年には厳しいこと、在来のバスでは乗り換えが必要で、バスでいくくらいなら、小さい学校でいいという声が検討委員会に出ています。さとう議員は、「検討委員会で検討の結果、統廃合を見送るという結論に達した場合、教育委員会として住民の意見を尊重すべきだがどうか」と質問、「教育委員会として、子どもたちにとってよりよい環境を整えるためにしっかり取り組んでいく」旨の答弁しかありませんでした。さとう議員は、統廃合前提ではなく、住民への周知し秘匿意見を聞き、納得と合意の上でなければ統廃合をすすめるべきではない、と強く指摘しました。